



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年1月7日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
里川・水産 振興課	漁業振興係	景山 下村	内線 4216 直通 058-272-8293 FAX 058-278-2695

「鮎ルアーの普及に向けた勉強会」の開催について

県では、新たな遊漁者や漁協組合員を確保し、「鮎王国」としてのブランドを維持・発展させるため、友釣り漁場に配慮しながら、漁協と連携して鮎ルアーの普及に取り組んでいます。

このたび、鮎ルアーの普及に向け、漁協、釣具業界、行政との連携強化と成功事例の横展開を図るための勉強会を開催します。

記

1 日 時 令和8年1月14日(水) 13時～15時

2 場 所 岐阜県水産会館 1F 大会議室(岐阜市薮田南1-11-12)

3 内 容 ○演 題 「鮎王国・岐阜」の持続的発展に向けた三者連携の理想像
講 師 株式会社 c r e a t o 西山 宗一郎 氏

○演 題 漁協による鮎ルアー漁場における成功事例の紹介

報告者 ①牧田川漁業協同組合 おおたけ よしひさ 大嶽 喜久 氏
②長良川漁業協同組合 あさの しょうご 浅野 彰吾 氏
③揖斐川中部漁業協同組合代表理事組合長 あんどう むねいち 安藤 宗一 氏

○演 題 釣具業界(釣具メーカー及び釣具店)による鮎ルアー普及
に向けた取組と連携強化による相乗効果の期待

報告者 釣具メーカー4社、釣具店3社

○演 題 県による鮎ルアー普及に向けた支援策の紹介

報告者 岐阜県農政部里川・水産振興課

○意見交換

4 参加者 県内漁業協同組合関係者、釣具メーカー・釣具店等 約50名

〈鮎ルアー〉

鮎に似せたルアー(疑似餌)を使用して行う、鮎の友釣りである。生きた鮎を用いる友釣りと比較して、道具が安価であり手軽に楽しめることから、近年、若者に人気がある。